

補綴歯科治療 (FR : Final Restoration)

(H31年4月3日～6月27日)

担当講座 (分野) : 補綴・インプラント学分野

コース責任者: (主) 鬼原 英道

講座 (分野) 担当者:	有床義歯	補綴・インプラント学分野	野村 太郎
	冠橋義歯	補綴・インプラント学分野	田邊 憲昌
	インプラント	補綴・インプラント学分野	近藤 尚知
	バイオマテリアル	補綴・インプラント学分野	田邊 憲昌

第4学年 前期

	講義	実習
(歯科補綴学総論)	9.0 時間	15.0 時間
(有床義歯)	49.5 時間	120.0 時間
(冠橋義歯)	28.5 時間	67.5 時間
(インプラント)	10.5 時間	6.0 時間
(バイオマテリアル)	10.5 時間	
計	108.0 時間	208.5 時間

教育成果 (アウトカム)

補綴歯科治療 (Final Restoration) では、最初に関連講義で内容を理解、把握し、知識を確かなものとし、その展開として実習を行うことで、各ユニットを修得できる。

総論として欠損補綴治療の診察・診断、冠橋義歯、全部床義歯、部分床義歯、インプラントの診察・診断・治療について、12週にわたる講義・実習にて修得する。

これらを経て5年次臨床実習を行うに足る十分な補綴歯科領域の知識を確実に身につけることができる。

(ディプロマ・ポリシー: 1、2、3、4、5、7、9)

事前学修内容及び事前学修時間 (30分)

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修 (予習・復習) を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月3日(水) 1限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学総論 1 (補綴歯科治療の目的、臨床的意義、診察・診断) 補綴歯科治療の目的、臨床的意義、診察・診断について理解する。	1. 補綴歯科治療の目的、臨床的意義について説明できる。 2. 補綴歯科治療における診察・診断について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月3日(水) 2限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学総論2 (歯の欠損に伴う顎口腔の変化、加齢変化、歯の欠損と補綴装置の特徴) 歯の欠損に伴う顎口腔の変化、加齢変化、歯の欠損と補綴装置の特徴について理解する。	1. 歯の欠損に伴う顎口腔の変化について説明できる。 2. 歯の欠損を生じる因子について説明できる。 3. 顎口腔の加齢変化について説明できる。歯の欠損様式と補綴装置の選択について説明できる。 4. クラウンブリッジによる補綴歯科治療の特徴を説明できる。 5. 有床義歯による補綴歯科治療の特徴を説明できる。 6. インプラントによる補綴歯科治療の特徴を説明できる。
4月3日(水) 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 田邊憲昌講師 高藤恭子助教 横田潤助教 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学総論実習1 (予備印象と研究用模型) 器材チェックを行う。また予備印象と研究用模型の製作を相互実習にて習得する。	1. 補綴歯科治療の意義を説明できる。 2. 実習に使用する器具・器材の名称と役割を説明できる。 3. 予備印象採得ができる。 4. 研究用模型の製作ができる。 [E-3-4)-(2)-②⑥⑪⑫]
4月4日(木) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学 (診察・診断) 全部床義歯補綴の診察法を理解する。	1. 無歯顎の病態を説明できる。 2. 概形印象と研究用模型について説明できる。 3. 個人トレーの製作について説明できる。 4. 印象材の種類と適応を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①~③⑥⑪⑫] 事前学習：無歯顎の病因と病態および治療法について事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月4日(木) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学 (上顎精密印象採得) 全部床義歯製作に必要な上顎の口腔の解剖と精密印象採得を理解する。	1. 上顎無歯顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。 2. 上顎の筋圧形成に関わる筋を説明できる。 3. 筋圧形成の意義を説明できる。 4. 精密印象の目的と方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑤⑥⑪⑫] 事前学習：上顎の印象採得法について、事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月4日(木) 3限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 久喜薫子 (非常勤講師)	全部床義歯補綴学実習・部分床義歯補綴学実習 (有床義歯補綴学概論) 歯の欠損を有する患者の模型を診査し、治療計画と設計について習得する。	1. 有床義歯補綴歯科治療の意義を説明できる。 2. 全部床義歯、部分床義歯治療の流れを診療室と技工操作に分けて列挙できる。 3. 実習に必要な器具、機材の名称と役割を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①~⑤] 事前学習：有床義歯補綴治療法の治療計画について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月4日(木) 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 豊田康夫 (非常勤講師)	全部床義歯補綴学実習 (咬合床製作①) 全部床義歯咬合床の基本的形態を理解し、製作法を習得する。	1. 咬合床の役割と具備条件を説明できる。 2. リリーフとブロックアウトの違いを説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑪⑫、F-3-4)-(⑦)] 事前学習：全部床義歯補綴治療法の咬合床の役割について、事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月5日(金) 1限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学 (下顎精密印象採得) 全部床義歯製作に必要な下顎の口腔の解剖と精密印象採得を理解する。	1. 下顎無歯顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。 2. 下顎の筋圧形成に関わる筋を説明できる。 3. 筋圧形成の意義を説明できる。 4. 精密印象の目的と方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑤⑥⑪⑫] 事前学習：下顎の印象採得法について、事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月5日(金) 2, 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 豊田康夫 (非常勤講師)	全部床義歯補綴学実習 (咬合床製作②③④) 全部床義歯咬合床の基本的形態を理解し、製作法を習得する。	1. 咬合床の役割と具備条件を説明できる。 2. リリーフとブロックアウトの違いを説明できる。 3. 常温重合レジンに練和し、基礎床の圧接ができる。 4. パラフィンワックスを用いて咬合堤の製作・調整ができる。 5. 人工歯の標準的排列位置を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑥⑪⑫] 事前学習：全部床義歯補綴治療法の咬合床の役割について、事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月8日(月) 1限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (具備すべき要件と治療方針) クラウンブリッジの具備すべき要件と治療方針を理解する。	1. クラウンブリッジの具備すべき要件を説明できる。 2. クラウンブリッジの治療方針を説明できる。 [E-3-4)-(1)-①] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月8日(月) 2限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (生活歯の支台歯形成) 生活歯の支台歯形成について理解する。	1. 支台歯の咬合面、軸面、歯頸側辺縁の形態を説明できる。 2. 支台歯形成の要点を説明できる。 3. 生活歯の支台歯形成時の注意点と手技を説明できる。 [E-3-4)-(1)-④] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月8日(月) 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 高橋義和 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学 実習(生活歯の支台歯形成①) 下顎第一大臼歯全部金属冠の生活歯の支台歯形成の手技を習得する。	1. 下顎第一大臼歯全部金属冠の支台歯形成が行える。 [F-3-4)-③] 事前学習：事前に実習書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月9日(火) 1限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (プロビジョナルレストレーション) プロビジョナルレストレーションについて理解する。	1. プロビジョナルレストレーションの目的と意義を説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑦] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月9日(火) 2限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 伊藤邦彦 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学 実習(生活歯の支台歯形成②) 上顎中切歯オールセラミッククラウンの生活歯の支台歯形成の手技を習得する。	1. 上顎中切歯オールセラミッククラウンの支台歯形成が行える。 [F-3-4)-③] 事前学習：事前に実習書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月9日(火) 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 金村清孝 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学 実習 (プロビジョナルレストレーション) プロビジョナルレストレーションの製作方法について理解する。	1. 間接法, 直接法によるプロビジョナルクラウンの製作方法について説明できる。 2. プロビジョナルクラウンが製作できる。 [F-3-4)-⑤] 事前学習：事前に実習書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月11日(木) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学 (垂直的顎間関係記録) 無歯顎患者の垂直的顎間関係の記録法を理解する。	1. 咬合床の機能と仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 2. 咬合高径の形態的、機能的な決定方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑥⑦⑪⑫] 事前学習：垂直的顎間関係について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月11日(木) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学 (水平的顎間関係記録) 無歯顎患者の水平的顎間関係の記録法を理解する。	1. 水平的顎間関係の形態的、機能的決定方法を説明できる。 2. ゴシックアーチ描記法を説明できる。 3. 咬合床に記入する標示線を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑥⑦⑪⑫] 事前学習：水平的顎間関係について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月11日(木) 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 佐々木憲明 (非常勤講師)	全部床義歯補綴学実習 (咬合採得・咬合器装着①②) 咬合採得の術式を理解し、顎間関係の記録法を修得する。	1. 咬合床を用いた咬合採得を説明できる。 2. 咬合採得材料の種類や特徴を説明できる。 3. 咬合床に標示線を記入できる。 4. スプリットキャスト法による咬合器装着の意義と手法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑥⑦⑪⑫、F-3-4)-⑧] 事前学習：咬合採得の手順について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月12日(金) 1限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学 (人工歯選択・咬合器装着) 人工歯の選択と咬合器装着について理解する。	1. 基本的な顔型、SPA要素、標示線、大きさ、症例による人工歯選択を説明できる。 2. 咬合器装着について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑨~⑫]
4月12日(金) 2, 3限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 佐々木憲明 (非常勤講師)	全部床義歯補綴学実習 (咬合採得・咬合器装着③④) 咬合採得の術式を理解し、顎間関係の記録法を修得する。	1. 咬合床を用いた咬合採得を説明できる。 2. 咬合採得材料の種類や特徴を説明できる。 3. 咬合床に標示線を記入できる。 4. スプリットキャスト法による咬合器装着の意義と手法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑥、⑦、⑪、⑫、F-3-4)-⑧] 事前学習：咬合採得の手順について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月12日(金) 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	補足実習 (全部床義歯補綴学実習) 全部床義歯の咬合採得の 手順について、教員との質 疑応答によって、疑問点を 抽出し、問題解決能力を養 う。	1. 全部床義歯の咬合採得の手順における疑 問点を抽出し、解決方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑥、⑦] 事前学習：咬合採得の手順について、事前 に調べ、1000字程度にまとめ、発表できる ようにしておく。
4月15日(月) 1限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラ ント学)	クラウンブリッジ補綴学 (失活歯の支台歯形成、支 台築造) 失活歯の支台歯形成と支 台築造について理解する。	1. 失活歯の支台歯形成の要点を説明できる。 2. 支台築造の意義、目的、種類を説明できる。 [E-3-4)-(1)-③、④] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月15日(月) 2限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプ ラント学)	クラウンブリッジ補綴学 実習 (対合歯列印象) 対合歯列印象について理 解する。	1. 対合歯列印象の目的を理解する。 2. 対合歯列印象の手技を理解する。 [F-3-4)-②] 事前学習：事前に実習書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月15日(月) 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプ ラント学) 伊藤茂樹 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学 実習 (支台築造、失活歯の支台 歯形成) 直接法による支台築造に ついて理解する。	1. 直接法による支台築造を実施できる。 2. 直接法に必要な材料の特性を説明できる。 [F-3-4)-②] 事前学習：事前に実習書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月16日(火) 1限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプ ラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (顎間関係記録) 上下顎の顎間関係の記録 法を理解する。	1. 前方基準点と後方基準点を説明できる。 2. 各種基準平面を説明できる。 3. 上下顎の顎間関係の記録を説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑤] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月16日(火) 2限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプ ラント学)	クラウンブリッジ補綴学 実習 (顎間関係の記録, 対合歯 列の咬合器装着)	1. 顎間関係の記録を実施できる。 2. 上顎模型を咬合器装着できる。 [F-3-4)-①] 事前学習：事前に実習書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月16日(火) 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプ ラント学) 細川貢 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学 実習 (失活歯の支台歯形成) 上顎中切歯オールセラミ ッククラウンの支台歯形 成の手技を習得する。	1. 上顎中切歯オールセラミッククラウンの 支台歯形成が行える。 [F-3-4)-③] 事前学習：事前に実習書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月17日(水) 1限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学 (前歯部人工歯排列) 前歯部人工歯排列について理解する。	1. 基本的な前歯部排列方法を説明できる。 2. 垂直被蓋と水平被蓋について説明できる。 [E-3-4)-(2)-(10)~(12)] 事前学習：前歯部人工歯排列の目的と手法について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月17日(水) 2, 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 大久保卓也 (非常勤講師)	全部床義歯補綴学実習 (前歯部人工歯排列①~③) 人工歯の種類を認識し、前歯部人工歯排列について理解する。	1. 前歯部人工歯を適切な位置に排列できる。 2. 適切な被蓋関係を付与できる。 [E-3-4)-(2)-(10)~(12)、F-3-4)-(8)] 事前学習：前歯部人工歯排列の手順について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月18日(木) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学 (臼歯部人工歯排列) 全部床義歯に用いる臼歯部人工歯排列について理解する。 (咬合様式) 全部床義歯に与える咬合様式の種類を知り、両側性平衡咬合を理解する。	(臼歯部人工歯排列) 1. 臼歯部人工歯排列の基本原則を説明できる。 2. 歯槽頂間線法則、ニュートラルゾーン、パウンドライン、調節彎曲を説明できる。 (咬合様式) 1. 咬合様式の種類を列挙し、有歯顎と無歯顎の咬合様式の違いを説明できる。 2. 全部床義歯に付与する咬合様式を列挙し、説明できる。 [E-3-4)-(2)-(10)~(12)] 事前学習：臼歯部人工歯排列の目的と手法について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月18日(木) 2, 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 大久保卓也 (非常勤講師)	全部床義歯補綴学実習 (前歯部人工歯排列④~⑥) 人工歯の種類を認識し、前歯部人工歯排列について理解する。	1. 前歯部人工歯を適切な位置に排列できる。 2. 適切な被蓋関係を付与できる。 [E-3-4)-(2)-(10)~(12)、F-3-4)-(8)] 事前学習：臼歯部人工歯排列の手順について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月19日(金) 1, 2, 3, 4 限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学実習 (臼歯部人工歯排列①～④) 人工歯の種類を認識し、臼歯部人工歯排列を理解する。	1. 全部床義歯の咬合様式が説明できる。 2. 顎堤に対する人工歯の頬舌的および近遠心的な位置関係を付与できる。 3. 人工歯の対合関係を適切に付与できる。 [E-3-4)-(2)-(⑩～⑫)、F-3-4)-(⑧] 事前学習：臼歯部人工歯排列の手順について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月22日(月) 1 限	深澤翔太助教 (補綴・インプラント学)	バイオマテリアル (印象材料) 補綴治療に用いる印象材料の種類と性質、材料の適応を理解する。	1. 印象材料の種類を挙げられる。 2. 印象材料の特徴を比較できる。 3. 印象材料の種類を挙げられる。 4. 目的に応じた印象材料の適応を説明できる。 [E-3-4)-(1)-(⑤] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月22日(月) 2 限	深澤翔太助教 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (印象採得) クラウンブリッジの印象採得について理解する。	1. 精密印象採得法の種類と特徴を説明できる。 2. 目的(概形印象、精密印象など)に応じた印象材の種類と性質を説明できる。 [E-3-4)-(1)-(⑤] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月22日(月) 3, 4 限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 松田葉 細川貢 工藤淳一 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学実習 (精密印象採得) クラウン製作のための精密印象採得手技を習得する。	1. 下顎第一大臼歯の適正な印象が行える。 2. 印象の正確さを判断できる。 [F-3-4)-(⑥] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月23日(火) 1 限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (作業模型、咬合器装着) 作業模型の種類とその特徴を理解する。 咬合器の特徴と、正しい模型の装着操作について理解する。	1. 作業模型の種類を列挙できる。 2. 作業模型の種類と選択について説明できる。 3. 咬合器の種類と選択について説明できる。 4. 咬合器装着について説明できる。 5. 咬合器の調節について説明できる。 [E-3-4)-(1)-(⑨] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月23日(火) 2, 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学実習 (作業模型製作) クラウン製作のための作業模型製作の手技を習得する。	1. 採得した印象に適切に1次・2次石膏を注入できる。 2. 石膏注入に必要なボクシングを実施できる。 3. 連結環を適切に配置し付与できる。 [F-3-4)-⑦] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
4月24日(水) 1, 2, 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 久喜薫子 佐藤友秀 (非常勤講師)	全部床義歯補綴学実習 (臼歯部人工歯排列⑤～⑧) 人工歯の種類を認識し、臼歯部人工歯排列を理解する。	1. 全部床義歯の咬合様式が説明できる。 2. 顎堤に対する人工歯の頬舌的および近遠心的な位置関係を付与できる。 3. 人工歯の対合関係を適切に付与できる。 [E-3-4)-(2)-⑩～⑫、F-3-4)-⑧] 事前学習：臼歯部人工歯排列の手順について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月25日(木) 1限	米澤悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学 (歯肉形成と蝟義歯試適) 蝟義歯試適時の検査内容、研磨面形態の意義と歯肉形成の方法を理解する。	1. 蝟義歯試適時の検査項目を列挙できる。 2. 発音に関連する解剖学的・生理学的事項を説明できる。 3. 研磨面形態が義歯の維持、安定におよぼす影響を説明できる。 4. 研磨面形態の形成法と歯肉形成を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑪、⑫] 事前学習：蝟義歯試適時の検査項目と手法について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月25日(木) 2, 3限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 阿部里紗子 佐藤友秀 (非常勤講師)	全部床義歯補綴学実習 (歯肉形成と研磨面形態①②) 完成義歯の研磨面形態、上顎義歯の口蓋後縁封鎖を理解し、術式を習得する。 (3限:健康診断)	1. 適切な研磨面形態を付与できる。 2. ポストダムを付与し、後縁封鎖ができる。 3. 上顎基礎床口蓋部をワックスに置換できる。 [E-3-4)-(2)-⑪、⑫] 事前学習：歯肉形成と研磨面形態および後縁封鎖の目的と手法について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月25日(木) 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	補足実習 全部床義歯の人工歯排列の手順と咬合様式について、教員との質疑応答によって、疑問点を抽出し、問題解決能力を養う。 (健康診断)	1. 全部床義歯の人工歯排列の手順と咬合様式における疑問点を抽出し、解決方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑩~⑫、F-3-4)-(8)] 事前学習：人工歯排列と両側性平衡咬合の付与法について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
4月26日(金) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	自主学习 (出席確認無し)	
4月26日(金) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学 (中間筆記試験) 全部床義歯補綴学についての理解を問う。	1. 全部床義歯補綴学の一般的な事項について説明できる。
4月26日(金) 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学実習 (実習試験) 全部床義歯を製作する上で必要な基本的手技についての理解を問う。	1. 全部床義歯を製作する上で必要な基本的手技を実施できる。 [E-3-4)-(2)-⑥~⑫]
5月7日(火) 1限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (クラウンブリッジの前処置) クラウンブリッジの前処置について理解する。	1. クラウンブリッジの前処置を説明できる。 2. 支台歯周囲組織や顎堤粘膜の最適な環境について説明できる。 [E-3-4)-(1)-①] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月7日(火) 2限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学実習 (作業模型製作、咬合器装着) クラウン製作のための作業模型製作の手技を習得する。	1. 後ダウエル法によりダウエルピンを植立できる。 2. 咬合器装着ができる。 [F-3-4)-(7)] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月7日(火) 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 松田葉 細川貢 工藤淳一 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学 実習 (作業模型製作, 分割, トリミング) クラウン製作のための作業模型製作の手技を習得する。	1. 適正な可撤歯型を製作できる。 2. 歯型側辺縁のトリミングを実施できる。 [F-3-4)-(7)] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月8日(水) 1限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学) 武本真治教授 (医療工学講座)	全部床義歯補綴学・部分床義歯補綴学 (埋没・重合・研磨) 埋没・重合・研磨の方法を理解する。	1. 全部床義歯の埋没・重合・研磨の方法について説明できる。 [E-3-4)-(2)-(11), (12)] 事前学習：埋没・重合・研磨の方法について事前に調べ, 1000字程度にまとめ, 発表できるようにしておく。
5月8日(水) 2限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学) 武本真治教授 (医療工学講座)	バイオマテリアル (人工歯・義歯床用材料) 人工歯, 義歯床用材料の種類と性質, 材料間の類似性と相違を理解する。	1. 人工歯材料の種類を列挙できる。 2. 人工歯材料の特徴を比較できる。 3. 義歯床材料の種類を挙げられる(レジン, 金属)。 4. 義歯床材料の特徴の比較ができる。 5. 義歯床材料間で作製法の違いを説明できる。 [D-1-①, ③, D-2-②, E-3-4)-(2)-(11)]
5月8日(水) 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 近藤貴之 阿部里紗子 (非常勤講師)	全部床義歯補綴学実習 (埋没・填入, 重合①②) 義歯を製作するために, 埋没, てん入, 重合操作の手技を習得する。	1. 床義歯の適切な埋没, 流蠟, 填入, 重合操作が行える。 [E-3-4)-(2)-(11), (12)] 事前学習：埋没・重合・研磨の手法について事前に調べ, 1000字程度にまとめ, 発表できるようにしておく。
5月9日(木) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学 (咬合器再装着・咬合調整・義歯装着と調整) 全部床義歯の装着に際する診査や注意ならびに装着後の患者指導を理解する。	1. 粘膜面および咬合面の調整について説明できる。 2. 患者指導内容を説明できる。 [E-3-4)-(2)-(11)~(13)] 事前学習：咬合器再装着による咬合調整の目的と義歯装着の手法について, 事前に調べ, 1000字程度にまとめ, 発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月9日(木) 2限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学実習 (重合義歯の割りだしと咬合器再装着) 咬合器再装着の目的と方法を理解し、術式を習得する。	1. 床義歯の重合、割りだし操作が行える。 2. リマウント法について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑪、⑫] 事前学習：咬合器再装着による咬合調整の手技について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月9日(木) 3限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 中村俊介 (非常勤講師)	全部床義歯補綴学実習 (咬合調整と装着①②) 人工歯の選択削合の目的と方法について理解し、咬合調整、義歯装着の術式を習得する。	1. 咬合器上での咬合調整ができる。 2. 研磨方法について説明できる。 3. 義歯調整について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑩～⑬、F-3-4)-(⑧] 事前学習：咬合器再装着による咬合調整の手技について、事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月9日(木) 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	補足実習 全部床義歯の製作手順と咬合様式について、教員との質疑応答によって、疑問点を抽出し、問題解決能力を養う。	1. 全部床義歯の製作手順と咬合様式における疑問点を抽出し、解決方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑩～⑬] 事前学習：全部床義歯に付与する咬合様式について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月10日(金) 1, 2, 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学実習 (実習試験) 全部床義歯を製作する上で必要な基本的手技についての理解を問う。	1. 全部床義歯を製作する上で必要な基本的手技を実施できる。 [E-3-4)-(2)-⑪⑫]
5月13日(月) 1限	横田潤助教 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (ワックスパターン形成) クラウンを間接法で製作するためのワックス操作法を理解する。	1. ワックスパターン形成法と特徴を説明できる。 2. ワックスパターン形成時における適切な歯冠形態について説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑧⑨] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月13日(月) 2, 3, 4 限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 塩山司 (非常勤講師) 清水尚 歯科技工士	クラウンブリッジ補綴学 実習(ワックスパターン形成, 光学印象) クラウンの咬合と形態に関わる要件を理解する。	1. 形態的要件を満たしたワックスパターンを形成できる。 2. 適切な咬合関係を設定できる。 3. 適切な隣接接触関係を設定できる。 4. 適切な歯頸側辺縁形態を設定できる。 5. オーラルスキャナーの基本操作を実施できる。 [F-3-4)-③] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月14日(火) 1, 2 限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 清水尚 歯科技工士	クラウンブリッジ補綴学 実習 (補足実習) 支台歯形成, 顎間関係記録, プロビジョナルレストレーション製作までの手順について、教員との質疑応答によって、疑問点を抽出し、問題解決能力を養う。	1. 支台歯形成からワックスパターン形成までの手順における疑問点を抽出し、解決方法を説明できる。 [F-3-4)] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月14日(火) 3, 4 限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 工藤努 遠藤寛 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学 実習(ワックスパターン形成) クラウンの咬合と形態に関わる要件を理解する。	1. 形態的要件を満たしたワックスパターンを形成できる。 2. 適切な咬合関係を設定できる。 3. 適切な隣接接触関係を設定できる。 4. 適切な歯頸側辺縁形態を設定できる。 5. オーラルスキャナーの基本操作を実施できる。 [F-3-4)-③] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月15日(水) 1 限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学 (欠損様式と診査) 欠損歯列の様々な分類法と臨床的意義、部分床義歯製作時の診察法を理解する。	1. 分類の必要性と臨床的意義を説明できる。 2. 部分床義歯製作時の診察項目を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①~③, F-3-4)-①] 事前学習：歯の欠損による顎口腔系の変化と欠損様式について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月15日(水) 2 限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学 (構成要素) 義歯の構成要素の種類とその作用について理解する。	1. 部分床義歯の構成要素を列挙し、説明できる。 2. 義歯の構成要素が持つ作用を説明できる。 3. レストの作用を説明できる。 4. 義歯床、大連結子による作用を説明できる。 5. 誘導面と隣接面板を説明できる。 [E-3-4)-(2)-④⑤] 事前学習：部分床義歯の構成要素の役割について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月15日(水) 3限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (概形印象採得) 概形印象採得を行うために、印象域、印象材、印象手法を理解し、その術式を習得する。	1. 概形印象について説明できる。 2. 適切な概形印象採得が出来る。 [E-3-4)-(2)-(⑥⑪⑫)、F-3-4)-(①] 事前学習：部分床義歯の概形印象の目的と手法について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月15日(水) 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (研究用模型製作①) 研究用模型の使用目的を理解し、製作方法を習得する。	1. 研究用模型の使用目的について説明できる。 2. 適切な研究模型を作製することが出来る。 [E-3-4)-(2)-(③⑪⑫)] 事前学習：部分床義歯の研究用模型を用いた診察と検査および診断について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月16日(木) 1限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学 (支台装置) 部分床義歯の維持の考え方を理解し、維持装置の種類、構造、機能などを修得する。	1. 部分床義歯の維持について説明できる。 2. 維持装置の一般的所要条件を説明できる。 3. 維持装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 [E-3-4)-(2)-(③④)] 事前学習：支台装置の目的と機能について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月16日(木) 2限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学 (設計) 部分床義歯の基本的な設計原則について理解する。	1. 義歯の基本的な設計原則を説明できる。 2. 義歯構成要素と設定位置・順序を説明できる。 [E-3-4)-(2)-(⑤)、F-3-4)-(①)] 事前学習：部分床義歯の設計原則と手順について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月16日(木) 3限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (研究用模型製作②) 研究用模型の使用目的を理解し、製作方法を習得する。	1. 研究用模型の使用目的について説明できる。 2. 適切な研究模型を作製することが出来る。 [E-3-4)-(2)-(⑥⑪⑫)、F-3-4)-(①)] 事前学習：部分床義歯の研究用模型を用いた診察と検査および診断について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月16日(木) 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (予備サベイングと予備設計①) 予備サベイングと予備設計の目的を理解し、習得する。	1. 欠損歯列の分類法について説明できる。 2. 適切な連結装置を選択し設計できる。 3. 適切な支台装置を選択し設計できる。 4. サベイングの目的と意義を説明できる。 5. サベイヤーと付属品の名称と使用法を説明できる。 6. 適切にサベイング操作を行うことができる。 [E-3-4)-(2)-①~⑤⑩⑫、F-3-4)-①] 事前学習：予備サベイングの目的と手技および予備設計の手順について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月17日(金) 1限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学 (生体力学) 部分床義歯に加わる力への対応を理解する。	1. 義歯に加わる力を列挙できる。 2. 支台歯と顎堤の負担能力について説明できる。 3. 部分床義歯の構成要素を列挙し、説明できる。 [E-3-4)-(2)-②~④] 事前学習：義歯と支台歯および顎堤にかかる力とその分担法について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月17日(金) 2限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学 (サベイング) サベイングの目的と意義について理解する。	1. サベイングの目的を説明できる。 2. サベイングの手順と意味を説明できる。 3. サベイングと義歯設計の関係を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑤⑩⑫、F-3-4)-⑦] 事前学習：サベイングの目的と手順および使用器具について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月17日(金) 3限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (予備サベイングと予備設計②) 予備サベイングと予備設計の目的を理解し、習得する。	1. 欠損歯列の分類法について説明できる。 2. 適切な連結装置を選択し設計できる。 3. 適切な支台装置を選択し設計できる。 4. サベイングの目的と意義を説明できる。 5. サベイヤーと付属品の名称と使用法を説明できる。 6. 適切にサベイング操作を行うことができる。 [E-3-4)-(2)-①~⑤⑩⑫、F-3-4)-①] 事前学習：予備サベイングの目的と手技および予備設計の手順について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月17日(金) 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (個人トレー製作①) 部分床義歯製作に用いる個人トレーの製作方法を習得する。	1. 個人トレーの使用意義を説明できる。 2. 個人トレーの外形線を記入できる。 3. 常温重合レジンと練和し、個人トレー体部と柄の圧接ができる。 [E-3-4)-(2)-⑪⑫] 事前学習：個人トレーの目的と製作手法について事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月20日(月) 1限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 工藤努 (非常勤講師)	補足実習(クラウンブリッジ補綴学実習) 精密印象から作業模型製作の手順について、教員との質疑応答によって、疑問点を抽出し、問題解決能力を養う。	1. 精密印象からワックスパターン形成までの手順における疑問点を抽出し、解決方法を説明できる。 [F-3-4] 事前学習：事前に実習書，WEB CLASS を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月20日(月) 2, 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学実習(実習試験) クラウンブリッジを製作する上で必要な基本的手技についての理解を問う。	1. 支台歯形成の基本的手技についての理解を問う。 2. プロビジョナルクラウン製作の基本的手技についての理解を問う。 [F-3-4] 事前学習：事前に教科書，WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月21日(火) 1限	深澤翔太助教 (補綴・インプラント学)	バイオマテリアル(石膏、ワックス) 補綴歯科治療に用いられる石膏、ワックスについて理解する。	1. 作業模型、咬合器装着に用いる材料の種類を挙げられる。 2. 目的(研究用模型、作業模型)に応じた石膏の種類と性質を説明できる。 3. 咬合器装着に関連する石膏、ワックスの種類と特性を説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑧] 事前学習：事前に教科書，WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月21日(火) 2限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学(ブリッジの設計1) 意義、構成、種類について理解する。	1. ブリッジの意義を説明できる。 2. ブリッジの構成を説明できる。 3. ブリッジの種類を説明できる。 4. ポンティックについて説明できる [E-3-4)-(1)-①②] 事前学習：事前に教科書，WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月21日(火) 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 細川貢 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学実習(ブリッジ形成) ブリッジの支台形態を理解する。プロビジョナルブリッジの製作方法を理解する。	1. ブリッジの支台歯形成が行える。 2. 平行性の確認が行える。 3. プロビジョナルブリッジの製作方法を説明できる。 [F-3-4)-③] 事前学習：事前に教科書，WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月22日(水) 1限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学(前処置) 前処置の目的と意義について理解する。	1. 広義の前処置と狭義の前処置を列挙し、説明できる。 [E-3-4)-(2)-④⑤] 事前学習：広義の前処置と補綴前処置の目的について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月22日(水) 2限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 澤田 愛 中村俊介 (非常勤講師)	部分床義歯補綴学実習 (個人トレー製作②) 部分床義歯製作に用いる個人トレーの製作方法を習得する。	1. 個人トレーの使用意義を説明できる。 2. 個人トレーの外形線を記入できる 3. 常温重合レジンに練和し、個人トレー体部と柄の圧接ができる。 [E-3-4)-(2)-(⑪⑫)] 事前学習：個人トレーの目的と製作手法について事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月22日(水) 3、4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学) 澤田 愛 中村俊介 (非常勤講師)	部分床義歯補綴学実習 (前処置①②) 欠損歯列の口腔内前処置と個人トレーを用いた筋圧形成を習得する。	1. 欠損歯列の前処置について説明できる。 2. ガイドプレーン、レストシート、歯冠形態修正の形成ができる。 [E-3-4)-(2)-(④⑤⑪⑫)、F-3-4)-(④、⑥)] 事前学習：補綴前処置の手法と手技について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月23日(木) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学 (印象採得) 歯と粘膜により支持される部分床義歯の印象採得を理解する。	1. 印象法の種類と特徴を説明できる。 2. 印象材料について説明できる。 3. 印象用トレーについて説明できる。 [E-3-4)-(2)-(⑥)、F-3-4)-(⑥)] 事前学習：部分床義歯印象採得の手法と手技およびオルタードキャスト法について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月23日(木) 2,3限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (筋圧形成①②) 欠損歯列の口腔内前処置と個人トレーを用いた筋圧形成を習得する。	1. 個人トレーとコンパウンドを用いた筋圧形成ができる。 [E-3-4)-(2)-(④⑤⑪⑫)、F-3-4)-(④、⑥)] 事前学習：部分床義歯印象採得の手技について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月23日(木) 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (精密印象採得) 床義歯の精密印象採得方法を習得する。	1. 精密印象材の種類と適応を説明できる。 2. 精密印象の操作方法を説明できる。 3. 精密印象の目的と方法を説明できる。 4. 精密印象採得を行うことができる。 [E-3-4)-(2)-⑥⑦⑪⑫、F-3-4)-⑥] 事前学習：部分床義歯印象採得の手技について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月24日(金) 1限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学 (顎間関係記録と咬合) 部分床義歯の咬合採得の特徴を知り、術式を理解する。	1. 咬合採得の術式、材料を歯列対向関係の違いに分けて説明できる。 2. 部分床義歯に付与する咬合様式について説明が出来る。 [E-3-4)-(2)-⑥⑩～⑫] 事前学習：部分床義歯の咬合採得の特徴と手法について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月24日(金) 2, 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (作業用模型製作①②③) 床義歯の作業用模型の製作方法を習得する。	1. ボクシングの目的を説明できる。 2. 作業模型について説明できる。 3. 作業用模型を製作できる。 [E-3-4)-(2)-⑪⑫、F-3-4)-⑦] 事前学習：ボクシングの製作手法について事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月27日(月) 1限	深澤翔太助教 (補綴・インプラント学)	バイオマテリアル (鋳造法と鋳造用金属) 鋳造の概要と具体的な方法、鋳造関連材料としてのワックス、埋没材、金属の種類と特性、取り扱いを理解する。	1. 歯科鋳造について説明できる。 2. 鋳造法の種類を列挙し、明できる。 3. 鋳造に用いる材料の種類(ワックス、埋没材)を挙げられる。 4. 鋳造原型用ワックスの種類と取り扱い上の注意点を説明できる。 5. 鋳造用金属を列挙し説明できる。 [E-3-4)-(1)-②] 事前学習：事前に教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月27日(月) 2限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (ブリッジの設計2) ブリッジの連結法とろう付けについて理解する。	1. ブリッジの連結法を説明できる。 2. ブリッジのろう付けを説明できる。 事前学習：事前に教科書、WebClassを読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月27日(月) 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 工藤努 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学実習 (Brのろう付け, 鑄造) ブリッジのろう付けと鑄造を理解する。	1. ろう付けのための咬合面コアを採得できる。 2. コア採得したブリッジを埋没するためにボクシングできる。 3. フラックスとアンチフラックスを適切に使用できる。 4. ク라운の鑄造法を説明できる。 [F-3-4)-③] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月28日(火) 1限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (接着ブリッジ) 接着ブリッジの意義と特徴を理解する。	1. 接着ブリッジの特徴を説明できる。 2. 接着ブリッジの支台歯形成の要点を説明できる。 3. 接着ブリッジの接着手順・方法を説明できる。 [E-3-4)-(1)-②] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月28日(火) 2, 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学) 工藤努 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学実習 (Brのろう付け, 鑄造) ブリッジのろう付けと鑄造を理解する。	1. ろう付けのための咬合面コアを採得できる。 2. コア採得したブリッジを埋没するためにボクシングできる。 3. フラックスとアンチフラックスを適切に使用できる。 4. ク라운の鑄造法を説明できる。 [F-3-4)-③] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
5月29日(水) 1, 2限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (サベイングと設計) サベイングの方法を習得する。	1. 適切なサベイングを行える。 [E-3-4)-(2)-③~⑤⑪⑫、F-3-4)-⑦] 事前学習：サベイングと設計手順について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月29日(水) 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学実習 (実習再試験) 全部床義歯を製作する上で必要な基本的手技についての理解を問う。	1. 全部床義歯を製作する上で必要な基本的手技を実施できる。 [E-3-4)-(2)-⑪⑫]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月30日(木) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学 (フレームワーク) フレームワークの特徴と製作方法を理解する。	1. フレームワークの製作法を説明できる。 2. フレームワークの試適方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-③~⑤⑪⑫] 事前学習：メタルフレームの製作手順について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月30日(木) 2, 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (フレームワーク製作 作業用模型修正①②③) 支台装置と連結子の特徴と製作方法を理解する。	1. フレームワークの製作法を説明できる。 2. 支台装置の製作法を説明できる。 3. 連結子の製作法を説明出来る。 4. 作業用模型の修正ができる。 [E-3-4)-(2)-③~⑤⑪⑫] 事前学習：フレームワークの製作手順と作業用模型の修正手技について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
5月31日(金) 1限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	バイオマテリアル (義歯用金属) 義歯に用いる金属材料に求められる性質を理解し、用途と種類、主要性質、成形・加工法の特徴を学ぶ。	1. 義歯で金属が用いられる部位と所要性質を説明できる。 2. 床用金属材料の種類と特徴を説明できる。 3. バー、クラスプに用いられる金属材料の種類と特徴を説明できる。 4. アタッチメント用磁性材料の種類と特徴を説明できる。 5. 義歯用金属材料の成形・加工における留意事項を説明できる。 [D-1-①、③、D-2-②、E-3-4)-(2)-⑪]
5月31日(金) 2, 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (複印象と耐火模型製作 ①②③) 支台装置と連結子の特徴と製作方法を理解する。	1. フレームワークの製作法を説明できる。 2. 支台装置の製作法を説明できる。 3. 連結子の製作法を説明出来る。 4. 複印象と耐火模型製作ができる。 [E-3-4)-(2)-③~⑤、⑪、⑫] 事前学習：フレームワークの製作手順と複印象と耐火模型製作手技について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
6月3日(月) 1限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (中間筆記試験) クラウンブリッジ補綴学についての理解を問う。	1. クラウンブリッジ補綴学の一般的な事項について説明できる。 [E-3-4)-(1)-①~⑬] 事前学習：これまでに行った講義、実習内容から出題するのですべて復習を行うこと。
6月3日(月) 2, 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 横田潤助教 深澤翔太助教 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学実習 (実習再試験) クラウンを製作する上で必要な基本的手技についての理解を問う。	1. 支台歯形成の基本的手技についての理解を問う。 2. プロビジョナルクラウン製作の基本的手技についての理解を問う。 [F-3-4)-③⑤] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月4日(火) 1限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学) 武本真治教授 (医療工学講座)	バイオマテリアル (クラウンブリッジ用セラミックス、セメント) クラウンブリッジに用いられるセラミックスおよびセメントの種類、特徴を理解する。	1. クラウンブリッジに用いられるセラミックスの種類、性質を説明できる。 2. クラウンブリッジの装着に用いるセメントの種類、性質を説明できる。特にレジンセメントの場合、被着体の表面処理について説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑧] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
6月4日(火) 2限	藤澤政紀 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学 (審美歯科1: ポーセレンラミネートベニア、陶材焼付冠) ポーセレンラミネートベニアと陶材焼付冠の特徴と製作法を理解する。	1. ポーセレンラミネートベニアの特徴と製作法を説明できる。 2. 陶材焼付冠の特徴と製作法を説明できる。 [E-3-4)-(1)-②⑧] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
6月4日(火) 3限	大平千之 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学 (審美歯科2: レジン前装冠、ジャケットクラウン) (色調選択法) レジン前装冠、レジンジャケットクラウンの特徴, 製作法について理解する。 クラウンブリッジの色調選択法について理解する。	1. レジン前装冠の特徴について説明できる。 2. レジンジャケットクラウンの特徴について説明できる。 3. 陶材焼付冠とレジン前装冠の違いを説明できる。 4. 天然歯の構造と色調について説明できる。 5. 視感比色法について説明できる 6. 器械測色法について説明できる。 [E-3-4)-(1)-②⑥⑧] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
6月4日(火) 4限	大平千之 (非常勤講師)	クラウンブリッジ補綴学 (審美歯科3: CAD/CAM、オールセラミッククラウン) CAD/CAM によるオールセラミッククラウンの製作法を理解する。	1. CAD/CAM システムとオールセラミッククラウンの特徴について説明できる。 2. CAD/CAM システムを用いたクラウン製作方法について説明できる。 [E-3-4)-(1)-②⑧] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
6月5日(水) 1, 2, 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (実習試験) 部分床義歯を製作する上で必要な基本的手技についての理解を問う。	1. 部分床義歯を製作する上で必要な基本的手技を実施できる。 [E-3-4)-(2)-⑪⑫、F-3-4)-①④~⑧]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月6日(木) 1限	米澤悠助教 (補綴・インプラ ント学)	部分床義歯補綴学 (人工歯排列と試適) 人工歯排列の基本原則と 蠟義歯の試適時の検査項 目を理解する。	1. 人工歯の選択と排列について説明できる。 2. 部分床義歯に付与する咬合を説明できる。 3. 歯肉形成について説明できる。 4. 蠟義歯試適時の検査項目を列挙できる。 [E-3-4)-(2)-⑨~⑫] 事前学習：部分床義歯と全部床義歯の人工 歯排列の違いについて事前に調べ、1000字 程度にまとめ、発表できるようにしておく。
6月6日(木) 2, 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラ ント学)	部分床義歯補綴学実習 (フレームワークのワッ クスアップ①②③) 支台装置と連結子の特徴 と製作方法を理解する。	1. フレームワークの製作法を説明できる。 2. 支台装置の製作法を説明できる。 3. 連結子の製作法を説明出来る。 4. フレームワークのワックスアップがで きる。 [E-3-4)-(2)-③~⑤⑪⑫、F-3-4)-(7)] 事前学習：フレームワークの製作手順とワ ックスアップの手技について事前に調べ、 1000字程度にまとめ、発表できるようにし ておく。
6月7日(金) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラ ント学)	部分床義歯補綴学 (義歯装着と調整) 部分床義歯の装着と術後 管理、患者指導について理 解する。	1. 義歯装着の手技について説明できる。 2. 咬合調整について説明できる。 3. 義歯装着時の患者指導を説明できる。 4. 義歯装着後の口腔内の変化について列挙 し、説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑪~⑬] 事前学習：部分床義歯の装着手法と手技に ついて事前に調べ、1000字程度にまとめ、 発表できるようにしておく。
6月7日(金) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラ ント学)	全部床義歯補綴学・部分床 義歯補綴学 (義歯装着後の変化と対 応) 義歯装着後に生じる残存 諸組織と咬合の変化とそ の対応を理解する。	1. 義歯装着後の顎堤粘膜、歯槽骨、顎間関 係、咬合の変化とその対応を説明できる。 2. リベースとリラインの違いを説明でき る。 [E-3-4)-(2)-⑭] 事前学習：義歯装着後の変化とその対応方 法について事前に調べ、1000字程度にまと め、発表できるようにしておく。
6月7日(金) 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラ ント学)	部分床義歯補綴学実習 (咬合床製作①②③) 部分床義歯咬合床の基本 的形態を理解し、製作法を 習得する。	1. 咬合床の役割と具備条件を説明できる。 2. リリーフとブロックアウトの違いを説明 できる。 3. 常温重合レジンに練和し、基礎床の圧接 ができる。 4. パラフィンワックスを用いて咬合堤の製 作・調整ができる。 [E-3-4)-(2)-⑪⑫、F-3-4)-(7)] 事前学習：部分床義歯の咬合床の製作手法 について事前に調べ、500字程度にまとめ、 発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月10日(月) 1限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (クラウンの試適と装着) 模型上で製作したクラウンを生体に調和させるための試適、調整、仮着、合着の意義を理解する。	1. クラウンの適合性と生体反応の関連を説明できる。 2. クラウンの試適、調整、仮着、合着の意義について説明できる。 3. 仮着材、合着材の種類を説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑪] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
6月10日(月) 2限	田邊憲昌講師 畠山航助教 深澤翔太助教 横田潤助教 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 実習 (レジン前装冠) レジン前装冠の構造と積層による色調再現の方法を理解する。	1. リテンションビーズの役割を理解する。 2. オペーク、デンティン、エナメル各レジン適切に築盛できる。 3. ステインによる特徴付けができる。 [F-3-4)-③] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
6月10日(月) 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 深澤翔太助教 横田潤助教 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 実習 (クラウンの試適と装着) 模型上で製作したクラウンを生体に調和させるための試適、調整、仮着、合着の意義を理解する。	1. クラウンの適合性と生体反応の関連を説明できる。 2. クラウンの試適、調整、仮着、合着の意義について説明できる。 3. 仮着材、合着材の種類を説明できる。 [F-3-4)-③] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
6月11日(火) 2限	畠山航助教 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学 (クラウンブリッジの術後管理) クラウンブリッジ装着後における歯周組織の健康維持・増進、術後管理について説明できる。	1. ホームケア、プロフェッショナルケアとブラークコントロールについて説明できる。 2. リコール時の検査項目を列挙できる。 3. 支台歯や歯周組織の健康維持方法を説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑫、⑬] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
6月11日(火) 3, 4限	田邊憲昌講師 畠山航助教 深澤翔太助教 横田潤助教 (補綴・インプラント学)	補足実習(クラウンブリッジ補綴学実習) ブリッジ形成からろう付け操作までの手順について、教員との質疑応答によって、疑問点を抽出し、問題解決能力を養う。	1. ブリッジ形成からろう付け操作までの手順における疑問点を抽出し、解決方法を説明できる。 [F-3-4)] 事前学習：事前に教科書、WebClass を読んで講義に臨むこと。実習開始時に理解度確認の小テストを行う。
6月12日(水) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学・部分床義歯補綴学 (義歯修理) 義歯破損の原因とその対処法について理解する。	1. 義歯の破損の原因について説明できる。 2. 義歯修理の直接法について説明できる。 3. 義歯修理の間接法について説明できる。 4. 咬合再構成について説明できる。 5. 粘膜調整について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑪、⑫、⑭] 事前学習：義歯破折原因とその対応法について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月12日(水) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学・部分床義歯補綴学 (様々な義歯) オーバーデンチャーについて理解する。	1. オーバーデンチャーについて説明できる。 2. アタッチメントについて説明できる。 3. インプラントを応用したオーバーデンチャーについて説明できる。 [E-3-4)-(2)-①~⑤] 事前学習：オーバーデンチャーにおけるアタッチメントの特徴と選択について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
6月12日(水) 3,4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (義歯修理①②) 全部床義歯、部分床義歯の修理の方法を理解する。	1. 破折した義歯の修理をするために、適切な位置に復位できることを確認できる。 2. 床の破折部位を適切に修復できる。 3. 脱落した人工歯を復位し修理できる。 [E-3-4)-(2)-⑪、⑫、⑭] 事前学習：義歯破折原因とその対応法について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
6月13日(木) 1,2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学・部分床義歯補綴学 (確認講義①②) 床義歯治療に必要な知識を整理して床義歯製作方法を理解する。	1. 床義歯製作における各操作の目的を説明できる。 2. 床義歯製作法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①~⑬] 事前学習：床義歯製作の一連の手順と目的について事前に調べ、1000字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
6月13日(木) 3,4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯補綴学実習 (再実習試験) 全部床義歯を製作する上で必要な基本的手技についての理解を問う。	1. 全部床義歯を製作する上で必要な基本的手技を実施できる。
6月14日(金) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	自主学習 (出席確認無し)	
6月14日(金) 2限	近藤尚知教授 鬼原英道教授 小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学 (中間筆記試験) 部分床義歯補綴学についての理解を問う。	1. 部分床義歯補綴学の一般的な事項について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月14日(金) 3, 4 限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	部分床義歯補綴学実習 (再実習試験) 部分床義歯を製作する上で必要な基本的手技についての理解を問う。	1. 部分床義歯を製作する上で必要な基本的手技を実施できる。 [E-3-4)-(2)-⑪⑫、F-3-4)-(①④~⑧]
6月17日(月) 1 限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学総論 (顎口腔の形態と機能) 顎口腔の形態とその機能について理解する。	1. 顎口腔の解剖学的形態について説明できる。 2. 顎口腔の組織学的形態について説明できる。 3. 顎口腔の機能について説明できる。 [E-3-4)-(1)-①] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。
6月17日(月) 2、3、4 限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学総論実習 (予備印象と研究用模型) 予備印象と研究用模型の製作を相互実習にて習得する。	1. 予備印象採得ができる。 2. 研究用模型の製作ができる。 [E-3-4)-(2)-⑥⑪⑫、F-3-4)-(①]
6月18日(火) 1 限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学総論 (咬合器、顔弓記録、チェックバイト記録) 咬合器の分類と調節機構を理解する。 顔弓の臨床的意義と、咬合器装着方法、顎路角調節方法を理解する。	1. 顔弓と顔弓記録の基準点を説明できる。 2. 顔弓を使用する臨床的意義を説明できる。 3. 調節性咬合器と非調節性咬合器について説明できる。 4. アルコン型とコンダイラー型咬合器について説明できる。 5. 上下顎模型の装着方法を説明できる。 6. 顎路角の調節方法を説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑩] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。
6月18日(火) 2, 3, 4 限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 田邊憲昌講師 高藤恭子助教 畠山 航助教 横田潤助教 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学総論実習 2 (咬合と下顎運動の検査、顔弓記録、咬合器装着) 咬合と下顎運動の検査の方法を習得し、顔弓記録と咬合器装着の手技を理解する。	1. 咬合と下顎運動の検査ができる。 2. 顔弓記録が行える。 3. 咬合器装着が行える。 [E-3-4)-(2)-⑥~⑧⑪⑫F-3-4)-(⑧]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月19日(水) 1限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学総論 (下顎位と下顎運動) 下顎位, 下顎運動を理解する。	1. 補綴歯科治療に必要な下顎位について説明できる。 2. 下顎運動の特徴を説明できる。 3. ポッセルト図形とその各点について説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑩] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。
6月19日(水) 2限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学総論 (咬合と顎関節) 顎関節と咬合の関係を理解する。	1. 口腔の機能について説明できる。 2. 顎関節と咬合の関係を説明できる。 [E-3-4)-(1)-⑩] 事前学習：事前に教科書, WebClass を読んで講義に臨むこと。
6月19日(水) 3, 4限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 田邊憲昌講師 高藤恭子助教 横田潤助教 (補綴・インプラント学)	歯科補綴学総論実習2 (チェックバイト、切歯路角・顆路角調節) 咬合と下顎運動の検査の方法を習得し、顔弓記録と咬合器装着の手技を理解する。	1. 咬合と下顎運動の検査ができる。 2. 顔弓記録が行える。 3. 咬合器装着が行える。 [E-3-4)-(2)-⑥～⑧、⑪、⑫、F-3-4)-⑧]
6月20日(木) 1限	西郷慶悦 (非常勤講師)	口腔インプラント学 (歴史・概論) インプラント治療を行う上で必要な知識を習得する。	1. インプラント治療の歴史, 変遷について説明できる。 2. インプラントと補綴装置の基本構造を説明できる。 [E-3-4)-(3)-①] 事前学習：インプラントの歴史について事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
6月20日(木) 2限	山森徹雄 (非常勤講師)	口腔インプラント学 (診察・診断・治療計画) インプラント治療を行う上で診察・診断・治療計画立案に必要な知識を習得する。	1. インプラント治療の長所・短所について、説明できる。 2. インプラント治療を行うための診察・診断ができる。 3. 治療計画を立案することができる。 [E-3-4)-(3)-③④] 事前学習：インプラント治療を行うための診察・診断について事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
6月20日(木) 3限	大平千之 (非常勤講師)	バイオマテリアル (口腔インプラント用材料) 口腔インプラントで用いる材料の種類と特徴を学ぶ。	1. 口腔インプラントに用いる材料の所要性質を説明できる。 2. インプラント用材料の種類と主要な特徴を説明できる。 [D-2)-⑤] 事前学習：口腔インプラントに用いる材料について事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月20日(木) 4限	高藤恭子助教 (補綴・インプラント学) ※B肝	インプラント埋入実習解説講義 (器具の準備と術式の確認) インプラントの外科処置に必要な技術を習得する。	1. インプラントの外科処置に必要な器材の使用法を説明できる。 2. 外科術式を説明できる。 3. 外科術式に沿った器具を使用し、インプラントの埋入ができる。 [E-3-4)-(3)-⑤] 事前学習：インプラントの埋入について、使用する器具と術式について、事前に調べ、500字程度にまとめ、ディスカッションできるようにしておく。
6月21日(金) 1限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント学 (外科術式1) インプラント埋入手術、2次手術を行う上で必要な知識を習得する。	1. インプラントの外科処置に必要な器材等について説明できる。 2. インプラントの埋入手術の術式を説明できる。 3. 2次手術の術式を説明できる。 [E-3-4)-(3)-③⑤] 事前学習：インプラントの外科術式について事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
6月21日(金) 2, 3, 4限	近藤尚知教授 鬼原英道教授 高橋敏幸講師 ※高藤恭子助教 畠山航助教 横田潤助教 折祖研太助教 (補綴・インプラント学) 中田秀美 (非常勤講師)	インプラント埋入実習 (器具の準備と術式の確認) インプラントの埋入手術に必要な技術を習得する。	1. インプラントの外科処置に必要な器材の使用法を説明できる。 2. 外科術式を説明できる。 3. 外科術式に沿った器具を使用し、インプラントの埋入ができる。 [E-3-4)-(3)-⑤] 事前学習：インプラントの埋入について、使用する器具と術式について、事前に調べ、500字程度にまとめ、ディスカッションできるようにしておく。
6月24日(月) 1限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント学 (外科術式2) インプラント埋入手術、2次手術を行う上で必要な知識を習得する。	1. インプラントの外科処置に必要な器材等について説明できる。 2. インプラントの埋入手術の術式を説明できる。 3. 2次手術の術式を説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑤] 事前学習：インプラントの外科術式について事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月24日(月) 2限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント学 (補綴術式) インプラント補綴処置を行う上で必要な知識を習得する。	1. インプラントの補綴処置に必要な器材等について説明できる。 2. インプラントの印象採得の術式を説明できる。 3. インプラントの補綴処置の術式を説明できる。 4. インプラントの暫間補綴装置の製作と装着について説明できる。 5. インプラントの最終補綴装置の製作と装着について説明できる。 6. インプラント補綴装置の特徴と長所・短所について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑥⑦] 事前学習：インプラントの補綴術式について事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
6月24日(月) 3限	高藤恭子助教 (補綴・インプラント学)	口腔インプラント学 (メンテナンス・予後) メンテナンスを行う上で必要な知識を習得する。	1. インプラント補綴装置のメンテナンスについて説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑧] 事前学習：インプラントのメンテナンスについて事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
6月24日(月) 4限	中里滋樹 (非常勤講師)	口腔インプラント学 (合併症、トラブル) インプラント治療に関連する合併症についての知識を習得する。	1. インプラント治療で生じうる合併症について説明できる。 2. インプラント治療で生じうるトラブルへの対処法について説明できる。 [E-3-4)-(3)-②] 事前学習：インプラント治療に関連する合併症について事前に調べ、500字程度にまとめ、発表できるようにしておく。
6月25日(火) 1, 2限	小林琢也准教授 野村太郎講師 玉田泰嗣助教 米澤悠助教 米澤紗織助教 久保田将史助教 ※小野寺彰平助教 佐藤宏明助教 (補綴・インプラント学)	全部床、部分床義歯補綴学 実習 (実習再々試験) 全部床、部分床義歯を製作する上で必要な基本的手技についての理解を問う。	1. 全部床義歯を製作する上で必要な基本的手技を実施できる。 2. 部分床義歯を製作する上で必要な基本的手技を実施できる。 [E-3-4)-(2)-⑪⑫、F-3-4)-①④～⑧]
6月25日(火) 3, 4限	近藤尚知教授 鬼原英道教授 田邊憲昌講師 小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ補綴学・全部床義歯補綴学・部分床義歯補綴学・口腔インプラント学 (口頭試問) クラウンブリッジ補綴学・全部床義歯補綴学・部分床義歯補綴学・口腔インプラント学についての理解を問う。 *コースアンケート	1. クラウンブリッジ補綴学の一般的な事項について説明できる。 2. 全部床義歯補綴学の一般的な事項について説明できる。 3. 部分床義歯補綴学の一般的な事項について説明できる。 4. 口腔インプラント学の一般的な事項について説明できる。

コース最終試験 日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月26日(水) 1限	全部床義歯補綴学	コース最終筆記試験	
6月26日(水) 2限	部分床義歯補綴学	コース最終筆記試験	
6月27日(木) 1限	クラウンブリッジ補綴学	コース最終筆記試験	
6月27日(木) 2限	バイオマテリアル	コース最終筆記試験	
6月27日(木) 3限	口腔インプラント学	コース最終筆記試験	

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	クラウンブリッジ補綴学 5版	矢谷博文ほか編	医歯薬出版	2014年
教	クラウンブリッジテクニク	石橋寛二ほか編	医歯薬出版	2008年
教	無歯顎補綴治療学 3版	市川哲雄ほか編	医歯薬出版	2016年
参	無歯顎の印象	長尾正憲ほか著	口腔保健協会	1993年
参	図説無歯顎補綴学:理論から装着後の問題解決まで	山縣健佑ほか著	学建書院	2013年
教	スタンダードパーシャルデンチャー補綴学 3版	藍稔ほか編	学建書院	2016年
参	パーシャルデンチャーアトラス:デザイン理論と臨床遊離端義歯を中心に	大山喬史 編著	医歯薬出版	2005年
教	コンプリートデンチャーテクニク 6版	細井紀雄ほか編	医歯薬出版	2011年
教	パーシャルデンチャーテクニク 5版	五十嵐順正ほか編	医歯薬出版	2012年
参	エッセンシャル口腔インプラント学	古谷野潔ほか編	医歯薬出版	2009年
教	よくわかる口腔インプラント学第3版	赤川安正ほか編	医歯薬出版	2017年
参	Ultimate Guide IMPLANTS	山崎長郎ほか編	医歯薬出版	2004年
教	スタンダード歯科理工学:生体材料と歯科材料 6版	中寫裕ほか 編集幹事	学建書院	2016年
参	臨床歯科理工学	宮崎隆ほか編	医歯薬出版	2006年

成績評価方法

<p>すべての筆記試験、実習試験で 65 点以上をコース終了とする。中間筆記試験がある場合は、中間筆記試験を 40%、最終筆記試験を 60%とする。上記に該当しなかった場合は未終了科目について筆記再試験とする。</p> <p>実習試験未終了の場合は補習実習受講すること。別途評価を行う。</p> <p>実習試験，および実習再試験では，実習の各ステップで検印を受けることで受験資格を獲得できる。</p> <p>備考：本コースの実習すべてに出席し、すべての提出物を提出し、ライターの確認、検印を受けることを実習試験の受験資格とする。実習に対する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、を評価の対象とする。</p> <p>講義・実習：講義、実習ともに欠席、遅刻は減点の対象となる。</p>
--

特記事項・その他

<p>講義はプレゼンテーション、ディスカッション形式を取り入れて行う場合がある。また、講義内容の理解度の確認のため、クリッカーシステムを使用することがある。</p> <p>また、WebClass を使用して講義資料等の提供を行うことがあるので、事前に確認して講義に臨むこと。</p>

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
デスクトップコンピュータ	MDV-AGG9210X	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
ノートパソコン	VAIO ・ typeS ・ VPCS13AGJ_Pro	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
デスクトップパソコン	Inspiron580S	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
デスクトップパソコン	StudioXPS8100	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
ノートパソコン	MC516J/A Education	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
一眼レフカメラ・EOS	KISSX5 LKIT	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
測色計カラーリーダー	CR-13	2	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
ノートパソコン・VAIO 一式	VPCZ21AJ	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
内視鏡用ビデオシステム	PSV-4000	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
デナー・マーク II 咬合器		3	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究症例の治療用
HD ビデオウォークマン	GV-HD700	1	視聴覚用機器	講義症例プレゼンテーション用
プロジェクター	EB-X12	1	視聴覚用機器	講義症例プレゼンテーション用
咬合器・KAVO PROTER EVO5 一式	EVO5	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習時の補綴装置製作用
咬合器・KAVO PROTER EVO7	EVO7	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習時の補綴装置製作用

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
歯科用拡大鏡・サージタル・スルーザレンズ・ルーペー式	EVXi M250N オークリ HJ ブラック	1	基礎実習・臨床実習用機器	拡大視野下での形成, 技工のため
ノートパソコン・VE680AV	4520S/CT	1	基礎実習・臨床実習用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
ノートパソコン	VPCYA19FJB	2	基礎実習・臨床実習用機器	実習(講義)の資料作成
ノートパソコン	PCLS550CSW	1	基礎実習・臨床実習用機器	実習(講義)の資料作成
ジルコニア焼結用ファーマネー式 (KavoEverestTherm)	4180	1	基礎実習・臨床実習用機器	ジルコニアフレーム(実習用)製作用
標準カラーカメラユニット・一式	VW-300C	1	基礎実習・臨床実習用機器	相互実習時の口腔内写真撮影用
iPad・一式	64GB Wi fi	1	視聴覚用機器	実習(講義)資料作成用
サージタル・スルーザレンズ・ルーペ	EVXi M300N オークリ HJ ブラック	1	基礎実習・臨床実習用機器	拡大視野下での形成, 技工のため
サージタルライトシステムコンパクトLEDライト	テックライト	1	基礎実習・臨床実習用機器	拡大視野下での形成, 技工のため
BSA ソラリスミニ		1	基礎実習・臨床実習用機器	拡大視野下での形成, 技工のため
デスクトップパソコン・FMVXDBTH2Z ESPRIMO	D581/CX	1	基礎実習用機器 視聴覚用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
歯科用拡大鏡・サージタルルーペ・オークリリーダー	EVK450	1	基礎実習・臨床実習用機器	拡大視野下での形成, 技工のため
デスクトップパソコン・MateJ・一式	PC-MJ31LLZTJESC	1	基礎実習用機器	実習(講義)用資料作成
ノートパソコン	PT45159DBFB(SSS)		視聴覚用機器	実習(講義)用資料作成
A3 カラーレーザー複合機・一式	C810DNT	1	基礎実習・臨床実習用機器	授業配布資料作成
歯科用デジタルカメラ一式	DCN11-LV/GP2	2	基礎実習・臨床実習用機器	実習(講義)用資料作成
デジタルカラー複合機 imagio	MPC4002SPF	1	視聴覚用機器	講義資料作成用
ノートパソコン LaVieZ	PC-LZ550MSS	1	視聴覚用機器 臨床実習用機器	講義資料提示用
バイトアイ 咬合接触面測定器	BE- I	1	臨床実習用機器	咬合接触状態の可視化および観察、分析のため
オサダサクセス 40	OS-40	1	臨床実習用機器	臨床実習に於いてレジン等の切削を行うため
ノートパソコン MacBook Air 11inc	MD712J/B	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
ノートパソコン一式 HP ZBOOK	HP ZBook15 Mobile Workstation	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
薬用冷蔵ショーケース	NC-ME15A	1	基礎実習・研究用機器	実験、実習試料及び試薬の保存

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
ノートパソコン一式	PCLZ750TSB(SSS)	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
デスクトップパソコン	ENVYPHOEIX81048 OJP/CT	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
ノートパソコン VAI0 一式	VJP1111 シリーズ /VP111	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
コピー機・ミニコピア	DPC995	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
ノートパソコン・ MacBook Pro	Retina ディスプレイ モデル	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
ネットワーク対応ハード ディスク装置一式	RN31600	1	基礎実習・研究用機器	基礎実習、臨床実習における症例提示用の資料保存
A3 カラープリンター・ 一式	SP C740	2	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
モデルキャプチャート ライ		2	基礎実習用機器	実習 マウスガード作製のため
クワッドエースミニIII	QA-05	2	基礎実習用機器	実習 作業模型作製のため
ノートパソコン	PT67VGPBJA	1	視聴覚用機器	4 学年講義での使用